

子どもの誤飲事故の防止

- ◆子どもの中毒事故のうち、7割*は身の回りにある家庭用品の誤飲
- ◆石油製品やボタン電池・コイン形リチウム電池の誤飲で受診したうち、2割以上*が入院
(※(財)日本中毒情報センターへの問い合わせがあった、5歳以下の子どもの事故における割合)

灯油、殺虫剤などの石油製品を飲んでもむやみに吐かせない

灯油、殺虫剤、除光液、シンナー、キャンドルオイルなど石油製品は飲んだ時や吐かせた時に気管に入りやすく、気管に入ると肺炎を起こします。

- ★飲んでしまってもむやみに吐かせないことが重要
- ★色が悪かったり、咳込みが続いたり、症状があるときは医療機関を受診

事例：9ヶ月
灯油を飲んで、家族が吐かせたが、肺炎により2週間入院を要した。



ボタン電池、コイン形リチウム電池を飲み込んだら、すぐ医療機関へ

電池が食道にひっかかったり、鼻や耳に入ったままにして、発見が遅れると、周囲の体の組織を壊します。

事例：3歳
膿の混じった鼻汁があり受診したところ、鼻の中にボタン電池があるのが発見された。取り出されたが、鼻の穴を左右に分けている軟骨に穴があいた。

おもちゃ、補聴器、タイマー、ストップウォッチ、リモコン、キーホルダー、電卓、体温計・室温計、ペンライト など



～事故を防ぐために～

1. 使った後はきちんと片付け
2. 灯油、殺虫剤などをペットボトルなどの食品容器に移しかえない
3. 保管方法を工夫し、子どもの成長に応じて保管場所を変える
4. おもちゃなどの製品の対象年齢を守る
5. 危ないものを子どもに教える



周囲の大人が気をつけて子どもを守りましょう!

(財)日本中毒情報センター中毒110番 市民専用電話 判断に迷ったら問い合わせを!

*たばこ、家庭用品、医薬品、動植物の毒などによる中毒事故がどう対処したらよいか迷ったとき、お問い合わせください。

大 阪：072-727-2499 (365日24時間対応) つくば：029-852-9999 (365日9～21時対応)

消費者庁「子どもを事故から守る！プロジェクト」

- ・携帯サイト：<http://www.caa.go.jp/m/>
- ・パソコン用ホームページ：<http://www.caa.go.jp/kodomo/>



消費者庁携帯サイト
QRコード

「子ども安全メールfrom消費者庁」

子どもの事故予防に関する豆知識や注意点などを週1回、メール配信しています。また、皆様の体験談や安全の工夫をお寄せいただき、双方向の情報交換を行っています。



- ・vol.73 【指挟み防止グッズの手作りはいかが？】
- ・vol.74 【トイレは意外な危険ゾーン】

「あなたのお子さんは安全？」

ホームページで、子どもの月齢・年齢毎に起こりやすい事故と予防策を、イラストなどを使って紹介しています。



「あなたのお子さんは安全？」
V.1～2歳程度 6. 浴槽への転落 より

食品と放射能～消費者の安全・安心のために～

食品と放射能 Q&A

消費者庁

- ・消費者庁では、食品の放射性物質検査機器を地方自治体に配備し、消費サイドで安全を確かめる体制づくりを進めています。
- ・同時に、専門家と消費者が意見交換し、放射性物質のリスクについての共通認識を広げていく「リスクコミュニケーション」を進めています。
- ・また、消費者の皆さんが疑問や不安に思われていることを分かりやすく説明する冊子「食品と放射能Q&A」を作成しています。
- ・以上の取組みは、ホームページからご覧になれます。

<http://www.caa.go.jp/jisin/>

消費者庁